

## 1 教育目標

### (1) 台東区教育委員会の教育目標

台東区教育委員会は、子どもたちが心身ともに健康で、人権尊重の精神を基調としつつ人間性豊かに21世紀を創造する人材に成長することを願い、

- 互いの人格を尊重し、思いやりの心と規範意識をもつ人
- 個性や豊かな創造力、健やかな体を持ち、自ら学び、考え、行動する人
- 台東区の歴史・文化に誇りをもち、地域社会を愛し、発展に貢献できる人の育成に向けた教育を充実する。

また、だれもが生涯にわたり自己実現に生きがいを見出し、学びを継続し、心豊かに人生を送ることができる生涯学習社会の実現を図る。そして、台東区基本構想に掲げる「にぎわい いきいき したまち 台東」の実現を目指し、区民憲章を実践し、にぎわいと活力のある地域社会の形成と個性豊かな下町文化の継承と発展に努める。

### (2) 学校の教育目標

人権尊重の精神に基づき、自らの考えを深め、人や地域に広げ、人や自然と共に豊かに生きる児童の育成を目指し、次の目標を掲げ、基礎・基本を徹底し個性を生かす教育の実践に努める。

- 「深め、広げ、共に生きる」児童の育成
  - ・ がまん強い子
  - ・ 考える子
  - ・ 思いやりのある子
  - ・ 健康な子

### (3) 学校の教育目標達成のための基本方針

「学びのまち台東区アクションプラン」の施策を踏まえ、「こころざしを抱き、夢や希望をもち、21世紀を自らの力でたくましく生きることを可能にする教育」を目指し、以下のことを基本方針とする。

- 全教育活動を意図的・計画的・組織的に展開し、人権と生命尊重の精神を養うとともに、社会性を身に付け国際的な広い視野をもった人間性豊かな児童を育てる
- 「確かな学力」の充実・向上のため、習得型授業と活用・探究型授業のバランスを保ちながら、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させ、これらを活用して課題解決に必要な思考力、判断力、表現力その他の能力を育てる。
- PISA型読解力・言語力の向上を目指し、国語科、理科、算数科を中心に実践的研究を行う。
- 総合的な学習の時間では、環境や情報等の問題の解決や、探究活動の過程において、他者と協同して解決しようとする学習活動や、言語により分析し、まとめたり表現したりする学習活動を重視する。
- 道徳教育の全体計画に基づいて、人を思いやる心や善悪の判断などの規範意識を高め、正しい行動ができるように実生活に生きる道徳教育を進める。
- 開かれた学校にするため、一週間学校公開を2回行う。また、保護者・PTA、地元町会、関係諸機関等との連携・協力を深める。特に、学校の自己評価の結果を公開し、学校関係者に意見を求めるなど改善充実に努める。
- 健康の保持・増進と体力の向上のため、保健指導や食育の充実を図り、体育科及び教科外の体育的活動を推進し、生涯にわたって健康・体力づくりに取り組む児童の育成を進める。
- 学校週5日制の趣旨を踏まえ、児童が地域の自然や芸術、歴史、文化とふれあう様々な体験活動を通して、生涯にわたって学び続ける素地を養う。その一方で、年間15回程度の土曜スクール、土曜学校公開日を実施し、学びの場を提供する。

## 2 教育課程編成の基本的な考え方

### (1) 学校評価の結果を受けた教育課程の改善の視点

- 知的活動、感性・情緒等、コミュニケーション能力の基盤となる言語力の向上が重要であり、とりわけ、PISA型読解力の考え方を踏まえ、資料や文章を読んで、話を聞いて、情報を取り出す、解釈する、熟考・評価して発信できる力を高める。
- 善悪の判断、規範意識、人への思いやり、正義感や責任感など、児童の道徳性や社会性の育成が求められている。特に、社会性育成の基盤となる地域の中でのあいさつが、一層礼儀正しくきちんとできるよう育てる。

### (2) 教育課程の特色（魅力ある学校づくり）

- 美しい日本語・言語力向上プランの一環として「アナウンサーや専門講師による言葉の教室」を実施し、豊かな言語力とコミュニケーション能力の向上を目指す。
- 学区域の恵まれた自然環境、文化施設、大学教授等の人材等を教育活動の中に積極的に取り入れ、豊かな体験的活動を実施し、地域を愛し、文化や伝統を尊重する心や態度を育てる。
- 他県との学校間交流、地元町会や、高齢者との交流活動を通して、相互理解を深め、互いの学校、地域の自然や文化等の違いを認め合う心や態度、ボランティア精神を育てる。
- 各教科、総合的な学習の時間に、コンピュータの活用を位置付けた授業づくりを進め、情報活用能力の育成を目指す。

台東区立忍岡小学校

## 3 指導の重点

### (1) 教育課程の特色

#### ① 知

- 考える力の育成、言語力の向上を目指し、国語科、算数科、理科を中心に実践的研究を行う。
- 美しい日本語・言語力向上プランの一環として「アナウンサーや専門講師による言葉の教室」を、4年生以上で各学年、年間10時間程度実施する他、保護者対象の講演会を実施する。
- 地域の人材・組織力を生かし、箏を奏でる指導に力を入れ、発表する機会をつくる。
- 各教科、総合的な学習の時間に、ICTの活用を位置付けた授業づくりを進め、情報活用力の育成を目指す。

- ② 徳
- 地域の自然や文化施設等を活用し、「不忍池クリーン活動」「動物園での写生会・動物との触れ合い」「地域探検」「国立科学博物館等での体験的活動」を実施する。
  - 静岡市立清水西河内小学校との学校間で、絵画や書写等の作品、ビデオレター、メール交換をはじめ、来訪時の歓迎集会や交流学习、地域探検を実施する。また、「池之端デイホーム」との交流活動を諸行事や総合的な学習の時間の中で実施する。
- ③ 体
- 健康の保持・増進のため、保健指導や食育の充実を図る。
  - 体力向上のため、保護者の協力のもと、「一校一取組」として「不忍池マラソン大会」を行う。
  - 地域の方々のご協力もいただき、「ジュニア駅伝大会」参加を推奨し、体力の向上を図る。
- (2)各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間
- ① 各教科
- 問題解決の見通しをもたせたり、振り返りをさせたりする指導、繰り返し指導や習熟に応じた指導、補充的・発展的な指導等、個に応じた指導の充実に努める。特に、学力向上推進ティーチャーや大学生等とT・Tを組織し、一層きめ細やかな指導をすすめる。
  - 体験的学習や基礎的・基本的な知識・技能を活用した問題解決的な学習を重視し、学ぶ意欲、思考力、判断力、表現力を高める。その際、学ぶことの楽しさや成就感を体得させる。
  - 「調べたことやまとめたことについて、討論などをする活動」「言葉、数、式、図を用いて考え、説明する活動」「観察、実験の結果を整理し考察する活動」等、言語活動を充実させ、言語力を向上させる。また、各学期2週間程度、読書週間を設ける。
- ② 道徳
- 道徳の時間を要とし、あいさつ等礼儀を重点にした全体計画及び指導計画に基づき、教科との連携を図りながら意図的・計画的に実施し、道徳的価値の内面化を図り、道徳的心情・態度を養い、道徳的判断力・道徳的実践力を育てる。
  - 道徳の時間の指導の充実を図るため、魅力ある資料の選定を進め発問や教材・教具の工夫等、指導内容・方法の工夫・改善を図りながら人と触れ合い奉仕する喜びを体感するなど体験活動にも努めていく。
  - 道徳授業地区公開講座を開催して全学級が授業を公開し、心の教育や道徳教育の在り方について、保護者・地域と連携を深め積極的に意見交換を行い、共に児童の道徳性を育てる。
- ③ 外国語活動
- 外国語を通じて言語や文化について体験的に理解を深め、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、コミュニケーション能力の素地を育成する。
- ④ 特別活動
- 児童が主体的に活動する全校集会や縦割班（異学年小集団）活動を適切に設定し、自発性・自主性を発揮させ、成就感に満ちた楽しい学校生活及び好ましい人間関係が築けるようにする。また、ロング集会を計画的に行い、児童の創意ある活動を一層促す。
  - 学級活動、児童会活動等の指導を充実させ、児童相互の協力、励まし、信頼、所属感や連帯感等の育成に努める。
- ⑤ 総合的な学習の時間
- 児童の問題意識、思いや願いに基づく、見学やインタビュー、図書資料、インターネットの活用など多様な探究活動を通して、問題を解決する力や主体的・創造的・協同的態度を身に付けたり、学び方・ものの考え方、自己の生き方を考えたりすることができるようにする。
  - 地域の自然、文化施設・遺産、大学教授等の人材を生かし、どの学年にも地域単元を位置付け、地域の特性を生かす学習活動を中心に据える。
- (3)生活指導・進路指導（キャリア教育・こころざし教育）
- ア 生活指導
- 週1回児童の基本的な生活習慣の確立に関する内容で生活指導朝会を行い、実態把握、共通実践等を行って健全育成を進める。また、スクールカウンセラーとの連携を図りながら、教育相談研修会の実施等、教育相談の充実に努める。
  - 地域が主催する諸行事に協力し、児童が進んで参加し主体的に行動できる資質を育てる。また、地域で、あいさつが励行できる児童を育てるため、あいさつ週間を各学期2週間程度設ける。その際、「あいさつカード」による自己評価等の工夫を行う。
  - 児童が、安全で安心して学校生活ができるよう校舎内外の定期安全点検をはじめ、学校110番通報訓練、119番通報訓練、初期消火訓練、AED訓練、セーフティ教室等を実施し、危機管理に努める。
- イ 進路指導
- 児童一人一人のもつよさや可能性を引き出し生かしながら、自己の将来に対する明るい希望や夢をもたせ、発達段階に即した人間としての生き方・在り方指導の充実に努める。
  - キャリア教育の実施に当たっては、家庭・地域と連携し、体験的な学習を重視しながら、児童一人一人の勤労観、職業観を育てる教育を計画的に行う。